

川の素顔・命の水

かわのすがお
いのちのみず

水生生物で知る
川の健康

2017年度
調査

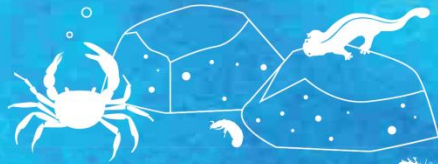


水生生物調査結果概要

この冊子では、平成29年度（2017年度）に近畿の川で行った水生生物調査の結果を紹介しています。

家の近くの川には、どんな生きものがすんでいて、水のきれいさはどうでしょうか。

調査のやり方や準備するもの、川に入る時の注意点、そして、川にいる外来生物についても紹介しています。



国土交通省近畿地方整備局

水生生物を調べて 川の水質を知ろう！

- ◆ 川にすむ生きもの（水生生物）を調べることで「水のきれいさ」を知ることができます。
- ◆ この調査は、みなさんの参加によって毎年行われています。



平成30年3月
国土交通省近畿地方整備局
近畿技術事務所

水のきれいさの区分

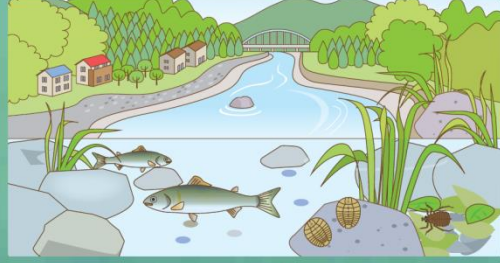
- ◆ 川の「水のきれいさ」は、右にしめす4つの階級に分けられています。
- ◆ どんな生きものがいるかにより、水のきれいさがわかります。

すいしつかいきゅう 水質階級 I
きれいな水



みずはとうめいで、かわぞこまで見え、みなさんが川の中に入って遊びたくところです。川底には石がたくさんあります。また、川岸には植物があり、日陰もあります。

すいしつかいきゅう 水質階級 II
ややきれいな水



まわりにはたんぼがあって、水がややにごっているとこです。川の中の石を持ち上げると石の表面にたくさんの水生生物がついています。

すいしつかいきゅう 水質階級 III
きたない水



はいすいろがかわにつながついたり、まわりに多くの人を見られるようなところ。川底は泥っぽくなっています。

すいしつかいきゅう 水質階級 IV
とてもきたない水



まわりには工場なども多く、人がたくさん住んでいます。川の水はにごっていて、ゴミなどがたまりやすくなっています。

たとえば、サワガニが多くいるところは「きれいな水」、アメリカザリガニが多くいるところは、「とてもきたない水」だよ。




































水生生物調査とは？

- ◆ この調査は、みなさんの参加と協力によって約30年間続いています。
- ◆ 特別な道具を使わなくても、小学生以上であれば簡単に参加できます。
- ◆ 調査に参加することで、『川の生き物』や『水のきれいさ』を知るとともに、川に親しみ、川を大切に作るきっかけにもなります。
- ◆ 水のきれいさを判定するための目安となる水生生物を『指標生物』といいます。
- ◆ 調査は、水生生物を採取して『指標生物』を見つけることで行います。

29種類の指標生物

指標生物の見わけ方は、パンフレットなどを見てね！



 きれいな水 <small>みず</small>	 カワゲラ類	 ナガレトビケラ類	 ヤマトビケラ類	 ヒラタカゲロウ類	 ヘビトンボ	 ブユ類	 アミカ類	 ナミウズムシ	 サワガニ	 ヨコエビ類
 ややきれいな水 <small>みず</small>	 コガタシマトビケラ類	 オオシマトビケラ	 ヒラタドロムシ類	 ゲンジボタル	 コオニヤンマ	 カワニナ類	 ヤマトシジミ	 イシマキガイ		
 きたない水 <small>みず</small>	 ミズムシ	 ミズカマキリ	 シマイシビル	 タニシ類	 イソコツブムシ類	 ニホンドロソコエビ				
 とてもきたない水 <small>みず</small>	 ユスリカ類	 チョウバエ類	 エラミミズ	 サカマキガイ	 アメリカザリガニ					

水生生物調査の道具と服装

水生生物調査でつかう道具や行く時の服装は、次のようなものです。
※道具は先生やいっしょに行く大人の人と相談して用意してください。

準備するもの

ちょうさ とうぐ 調査でつかう道具

持ち物をチェックしよう!

せんせい や いっしょ に行く 大人 の 人と
さうだん して、まとめて 用意 しましょう。

タモあみ・ザル

とうめい い もの
透明な入れ物

ちょうさ 調査シート・
ひっきょうぐ 筆記用具

おんどけい
温度計

しろいシート
白いシート

まさじやく
巻尺

ぼこ
箱メガネ

ピンセットと
スポット

バケツやトレイ
などの入れ物

ゴム手袋
てぶくろ

むし
虫めがね

そのほかの物

ゴミ袋
ぶくろ

きゅうきゅうようひん
救急用品

むし
虫よけ
スプレー

のみもの

ふくそう 服装

ツバの広い
ぼうし

なが
長そでの
動きやすい服

なが
長ぐつや、
みず
水にぬれても
よいくつ

ライフ
ジャケット



注意しよう！

川には、あぶないところもあるので注意して入ろう。

❗ 川には大人の人といっしょに行こう！



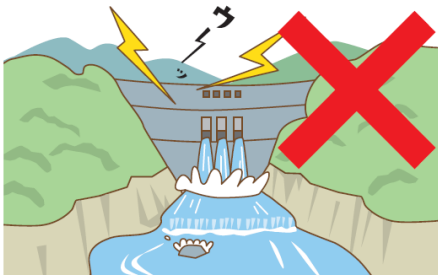
❗ ひざよりも深いところや、流れが速いところには行かないでね！



❗ 川の中や、ぬれたコンクリートの上を歩くときは、すべって転ばないように気をつけよう！



❗ ダムの放流や急な大雨があると、川の水が急に増えることがあるので、サイレンがなったら、すぐに川から離れよう！



❗ 川の水が増えている時や流れの速いときは、川に入らない！



❗ ゴミは持ち帰ろう！



川の状況は
急に変化
します！

晴れていても、川の状況が急変することがあります。

- 急に黒い雲が近づいてきた
- 雷の音が聞こえる
- 稲妻が見えた
- 天気予報で、「雷注意報」「大雨や洪水の警報・注意報」が出ている、など

現地の情報収集には、「川の防災情報 携帯電話版」にアクセスし、
周辺の雨量・水位を確認してください。(http://i.river.go.jp)



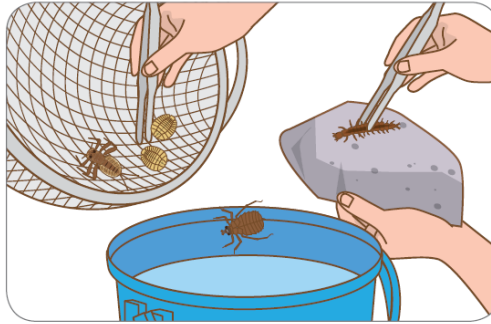
水生生物調査のやりかた

- ① 石が多く、流れのある瀬の場所で採取する



水生生物が流れてしまわないように、下流側に網をおいてから、川底の石を持ち上げ、流れ出る水生生物を網で受けます。

- ② 採った生きものをためておく



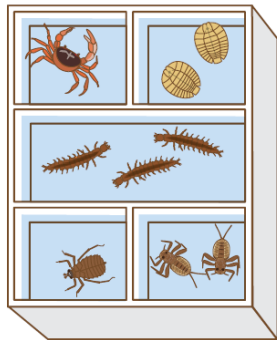
網や石の表面についている水生生物を水の入ったバケツの中に落とします。小さなものも逃さず集めましょう。

- ③ 白いシートに広げる



バケツの余分な水やゴミを捨ててから水生生物を白いバットやシートの上に広げ、ピンセットなどでつかまえます。

- ④ 形が似た生きものに分ける



仕切りのあるトレイを使って、形が似た生きもの同士に分けます。

- ⑤ 名前を調べる



この冊子の指標生物の写真や、図鑑と見比べて、水生生物の名前を調べます。

- ⑥ 調査シートに記録する



調べた結果を調査シート(4ページ)に記録して、水のきれいさを判定してみましょう。

近畿全体の調査結果

◆ 平成29年度は近畿地方（兵庫県、京都府、滋賀県、福井県、大阪府、奈良県、三重県、和歌山県の8府県）の合計41地点で調査を行いました。

◆ 調査結果は以下の通りでした。

😊きれいな水…………… 20地点

🙂ややきれいな水…… 19地点

⚠️きたない水…………… 2地点

💩とてもきたない水…… 0地点

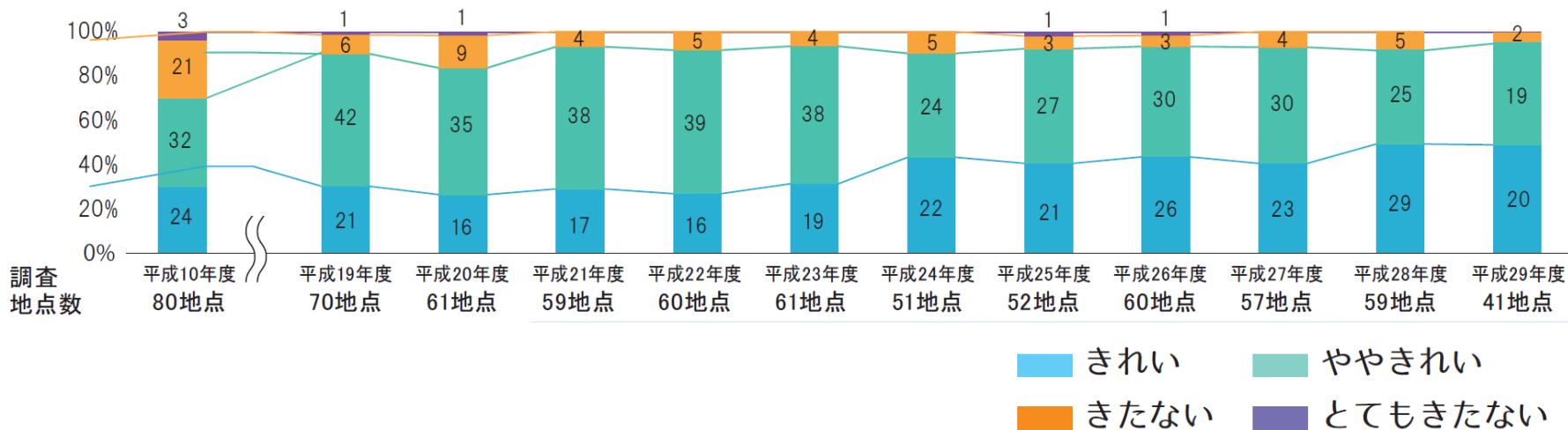
◆ 川の上流では「きれいな水」が多く、中～下流では「ややきれいな水」が多くなっています。



近畿全体の調査結果

「水のきれいさ」の移り変わり

- ◆ 平成10年と過去10年間の近畿の川の水のきれいさの変化をみると、「きたない水」の地点の割合が減ってきて、「きれいな水」の地点の割合が増えてきています。
- ◆ このように、過去からのデータをみることで、昔に比べてきれいになってきているのか、きたなくなっているのかを知ることができます。
- ◆ みなさんが調査して得られた結果は、将来にわたって活用されます。

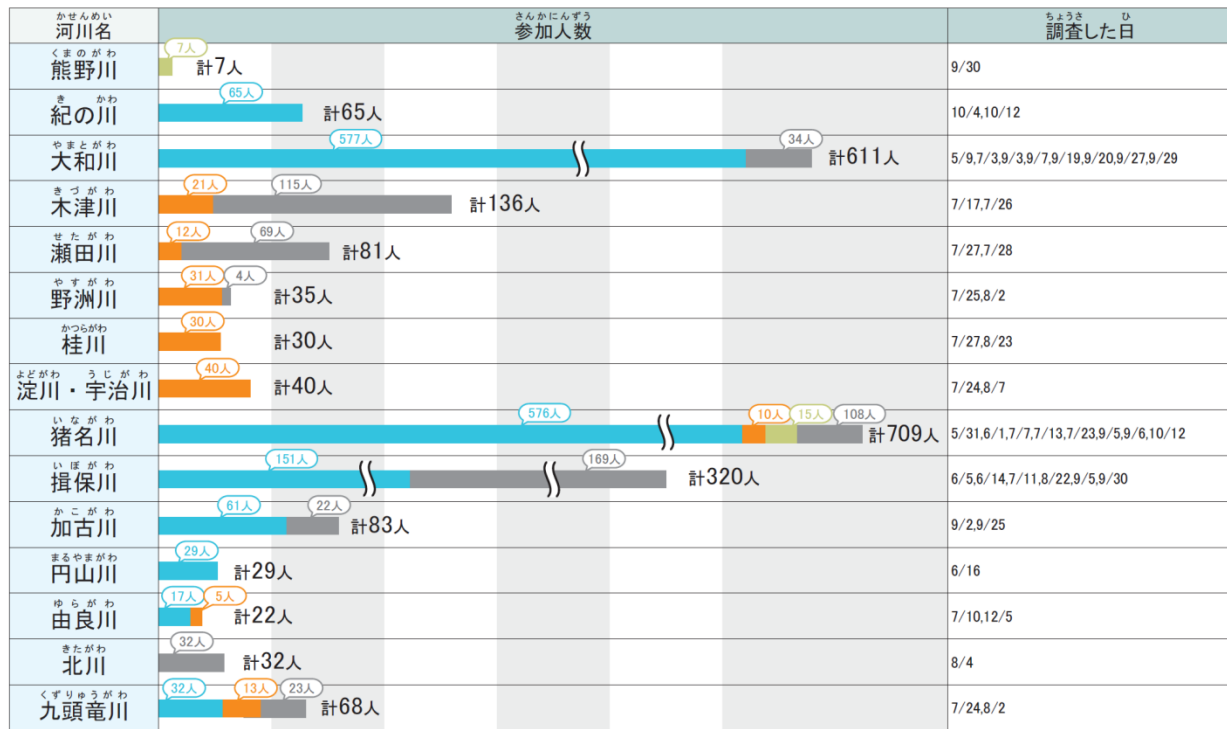


近畿全体の調査結果

参加人数

- ◆平成29年度調査では、**2,252人**の参加がありました。
- ◆小・中学校をはじめ、流域住民の参加と協力のもと、**昭和59年度から継続的に調査**を実施しています。
- ◆河川環境や水質に関する理解を深める場として定着し親しまれ、いくつかの小・中学校では、**総合学習の場**として活用されています。

平成29年度 河川ごとの参加人数

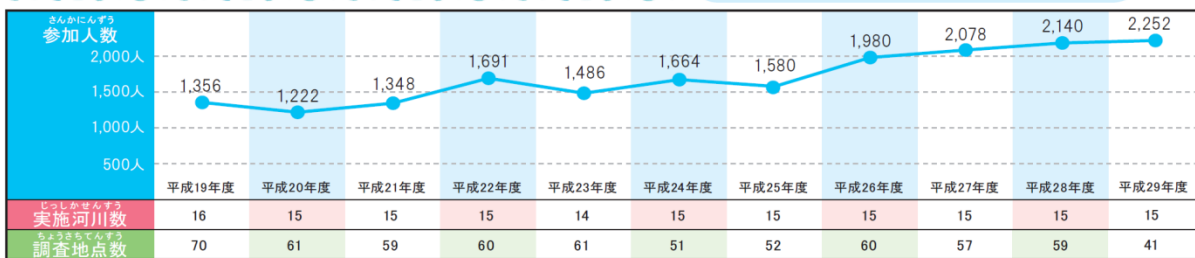


■ 小学校 ■ 中学校 ■ その他学校 ■ その他

※参加人数は河川ごとに集計しているため、下図の人数（実際に参加された方の人数）とは異なります。

これまでの調査地点数と参加人数

※近年、参加人数は、年々増えています。



※平成17～20年度：調査対象に草津川を追加、平成20年度：紀の川は天候不良のため中止、平成23年度：熊野川は天候不良のため中止

近畿全体の調査結果

平成29年度の水生生物調査に参加した方々の感想の一部を紹介します。

次の調査に、是非参加してください。
きっと、新しい発見があると思います。



参加した方々の感想

小学生のみなさんの感想

(九頭竜川)

川の石の下にたくさんの虫がいることがわかった。

(瀬田川：大石川)

たのしかったから、6年生までやりたいです。

(円山川)

たくさんの生きものをみつ

けることができた!

(紀の川)

きれいな川ときたない川で

は、すむ生きものがちがう

ことがわかりました。



中学生のみなさんの感想

(淀川)

水生生物に、より興味がわき、また淀川についてさらに詳しく知ることができました。いろいろな生物とふれあうことができ、また実際に指標生物を間近で観察でき、たいへん刺激的な体験となりました。

(木津川)

来年からは参加できなくて残念ですが、最後に水質階級を調べたときに「きれいな水」ということがわかって、木津川で水生生物調査に参加できてよかったと思いました。

(瀬田川・野洲川)

図鑑でしか見たことがない生物を実際に見てさわることができたので、貴重な体験ができた。



熊野川

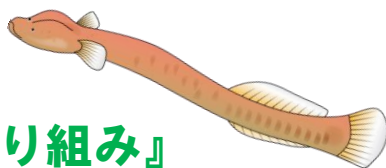
平成29年度の調査結果

地点数：1地点

参加者数：7人

参加団体：

□ 近畿大学附属新宮高等学校・中学校



『河川環境を守る取り組み』

熊野川では、大きな洪水により被害を受けた河口近くの干潟を再生する取り組みを行っています。

1地点で調査が実施され、水質判定による結果は、『きれいな水』でした。



熊野川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。)																													集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定
		I									II							III						IV													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	I	II	III	IV			
相野谷橋下流	9/30	○	○	●	○					○	●																			5	3	0	0	I	I	○	

 **きれいな水I**

 **ややきれいな水II**

 **きたない水III**

 **とてもきたない水IV**

確認種

「きれいな水」の指標生物であるヒラタカゲロウ類、「ややきれいな水」のヒラタドROMシ類が確認されました。

確認種数

熊野川全体で、「きれいな水」の指標生物4種類、「ややきれいな水」の指標生物2種類の合計6種類が確認されました。

熊野川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1 新宮川5.0k	※1984～1996年に調査											
2 相野谷橋(※1)	I	I	I	I	I		I	I	I	I	I	I
3 熊野大橋	※1993～1995年に調査											
4 丸山橋	※1985～1990年に調査											

(※1)「相野谷橋」地点は、2010年の調査より「相野谷橋下流」地点に整理している。



調査地点

これまでに **4 地点** で調査が実施されました。

相野谷橋では、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

相野谷橋下流の水のきれいさは、過去11年にわたり「**きれいな水**」の評価が続いています。

熊野川



調査実施状況



紀の川

平成29年度の調査結果

地点数：2地点

参加者数：65人(延べ)

参加団体：

- 有功東小学校
- 高野口小学校



『河川環境を守る取り組み』

紀の川大堰の左岸に魚道観察室があり、春先から初夏にかけて、稚アユが川を上る様子を見ることができます。

2地点で調査が実施され、水質判定による結果は、全ての地点で『きれいな水』でした。



紀の川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。)																												集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定	
		I										II								III						IV											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	I	II	III				IV
		カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アマカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計			
出世不動明王	10/4	●								●	●		○		○																6	2	0	0	I	I	I
丹生橋下流	10/12	●			●					●			○																		6	1	0	0	I	I	I

きれいな水Ⅰ

ややきれいな水Ⅱ

きたない水Ⅲ

とてもきたない水Ⅳ

確認種

「きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、ヒラタカゲロウ類、サワガニ、ヨコエビ、「ややきれいな水」の指標生物であるヒラタドROMシ類が多く確認されました。

確認種数

紀の川全体で、「きれいな水」の指標生物4種類、「ややきれいな水」の指標生物2種類の合計6種類が確認されました。

紀の川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1 大川橋				II								
2 恋野橋	※1984、1985年に調査											
3 橋本橋	※1998年に調査											
4 岸上橋	※1984、1985年に調査											
5 紀伊丹生川合流点	※1994年に調査											
6 三谷橋	※1984～1991年に調査											
7 麻生津大橋	※1984、1985年に調査											
8 龍門橋	※1984、1985、1989～1992年に調査											
9 竹房橋	※1997年に調査											
10 岩出橋	※1984、1985、1988～1992、1991、1992、1995年に調査											
11 諸井橋	※1988、1989、1994年に調査											
12 貴志橋	※1990、1991年に調査											
13 川辺	※1984、1985年に調査											
14 九度山橋	I	II		II	II	I	I	I	I			
15 井阪橋	※1999、2000年に調査											
16 九度山町河根	※2001年に調査											
17 阪合部橋	※2002年に調査											
18 大関橋	※2003年に調査											
19 観音橋										II		
20 口畑橋	I	I										
21 出世不動明王(※1)				II	I	I	I	I	I	I	I	I
22 丹生橋(※2)											I	I

(※1)「出世不動明王」地点は、2015年の調査のみ「出世不動」地点として整理している。
 (※2)「丹生橋」地点は、2017年の調査から「丹生橋下流」地点として整理している。

🌿 きれいな水Ⅰ

😊 ややきれいな水Ⅱ

😞 きたない水Ⅲ

💣 とてもきたない水Ⅳ



調査地点

これまでに**22地点**で調査が実施されました。

出世不動明王では、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

出世不動明王の水のきれいさは、「きれいな水」～「ややきれいな水」となっています。特に最近の8年間は「きれいな水」の評価が続いています。

紀の川



参加したみなさんの感想

- きれいな川ときたない川では住む生き物がちがうことが分かりました。（小学生）
- 帰校後のふりかえりの時間では、千手川のこと、生き物のこと、平松先生のことについて興味をもち、「場所を変えてもう一度調査を行いたい」と言い、千手川について学習を深めていくこととなった。身近な自然環境に気付き、地域を愛する心を養うために非常に有効な調査であると考えられる。・・・（小学校教諭）

大和川

平成29年度の調査結果

地点数：4地点

参加者数：611人(延べ)

参加団体：

- 浅香山小学校
- 依羅小学校
- 川西小学校
- 山之内小学校
- 白鷹小学校
- 西山本小学校
- 大和川釣り人クラブ



『河川環境を守る取り組み』

アユのすむ大和川の再生を目指して、アユなどのすみかとなる「瀬」や「淵」づくりをはじめとした川づくりに取り組んでいます。



4地点で調査が実施され、水質判定による結果は、

『ややきれいな水』が2地点、『きたない水』が2地点でした。

大和川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況（見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。）																											集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定																										
		I									II									III					IV																																				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	I	II				III	IV																								
カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アマカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツプムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計																														
御幸大橋	9/3	【御幸大橋】この地点では、指標生物は見つかりませんでした。指標生物以外のカダヤシ、ミナミヌマエビなどが見つかりましたので、この地点は「きたない水」と判断しています。																																																											
藤井	9/3	【藤井】この地点では、指標生物は見つかりませんでした。指標生物以外のカダヤシ、ミナミヌマエビなどが見つかりましたので、この地点は「きたない水」と判断しています。																																																											
河内橋	9/20	【河内橋】この地点では、指標生物は見つかりませんでした。指標生物以外のスジエビ、オイカワなどが見つかりましたので、この地点は「少しきたない水」と判断しています。																																																											
河内橋	9/29	【河内橋】この地点では、指標生物は見つかりませんでした。指標生物以外のスジエビ、オイカワなどが見つかりましたので、この地点は「少しきたない水」と判断しています。																																																											
河内橋	10/12																																																												
浅香（行基大橋）	5/9																												0	0	0	0	無																												
浅香（行基大橋）	7/3																												0	0	0	0	無																												
浅香	9/7														○													0	1	0	0	II	II	II																											
浅香	9/19																											0	0	0	0	無																													
浅香	9/27																											0	0	0	0	無																													

注: 藤井、河内橋、浅香地点では、指標生物は見つかりませんでした。指標生物以外の生き物から、これらの地点の水のきれいさを判断しています。

😊 きれいな水 I
😐 ややきれいな水 II
😨 きたない水 III
🌟 とてもきたない水 IV

確認種

大和川では「**ややきれいな水**」の指標生物である**コオニヤンマ**が確認されました。

確認種数

大和川全体で、「**ややきれいな水**」の指標生物 **1種類**が確認されました。

調査結果

熊野川

紀の川

大和川

木津川

瀬田川

桂川

淀川・宇治川

猪名川

揖保川

加古川

巴山川

由良川

北川

九頭竜川

大和川

調査結果の経年変化

地 点		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1	上吐田	※1984～2005年に調査											
2	太子橋	※1984～2005年に調査											
3	御幸大橋	Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ		Ⅲ	Ⅲ	無	Ⅲ
4	藤井	Ⅲ	Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	無	無	無	Ⅲ	Ⅲ
5	国豊橋												
6	河内橋	Ⅲ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	無	Ⅲ	Ⅱ
7	浅香新取水口(※1)		Ⅲ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	無	無	Ⅳ	無	Ⅲ	Ⅱ
8	遠里小野橋	※1984～2005年に調査											

(※1)「浅香新取水口」地点は、2010年の調査より「浅香」地点に整理している。



調査地点

これまでに **8 地点** で調査が実施されました。

御幸大橋、藤井、河内橋、浅香などの地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、平成20年（2008年）までは「きたない水」の地点が多かったが、平成21年（2009年）以降では、河内橋、浅香の地点で「ややきれいな水」の地点が多くなっています。

大和川



調査実施状況



木津川

平成29年度の調査結果

地点数：3地点

参加者数：136人(延べ)

参加団体：

- 上野生涯学習推進会議
- 新豊崎中学校
- 新北野中学校
- 木津南中学校
- 第六中学校



『河川環境を守る取り組み』

木津川では、堰に魚道をつくるなど、魚がのぼりやすい川づくりに取り組んでいます。

3地点で調査が実施され、水質判定による結果は、全ての地点で『きれいな水』でした。



木津川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定				
		I									II									III									IV		I	II	III	IV							
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								点数計	点数計	点数計	点数計
		カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロンコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数の最も高い階級											
稲広橋	7/17	○	○	○	○	○			●					●	○																		8	3	0	0	I	I	I		
新服部橋	7/26			●		●																											4	0	0	0	I	I	I		
恭仁大橋	8/4	○	●	●				○			○		○	○																			6	4	0	0	I	I	II		

 きれいな水Ⅰ

 ややきれいな水Ⅱ

 きたない水Ⅲ

 とてもきたない水Ⅳ

確認種

木津川では、「きれいな水」の指標生物であるナガレトビケラ類、ヤマトビケラ類などが、「ややきれいな水」の指標生物であるコオニヤンマが多く確認されました。

確認種数

木津川全体で、「きれいな水」の指標生物8種類、「ややきれいな水」の指標生物4種類の合計12種類が確認されました。

木津川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1 中垣内橋	※1987～1988年に調査											
2 稲広橋	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
3 阿保橋	※1987～1997年に調査											
4 古郡 潜水橋	※1988年に調査											
5 比土橋	※1987、1989～1997年に調査											
6 大野木橋	※1984～1997年に調査											
7 芝床橋	※1984～1997年に調査											
8 新長田橋	※1984～1995年に調査											
9 新居橋	※1984～1995年に調査											
10 岩倉橋	※1984～1997年に調査											
11 長瀬	※1989～1995年に調査											
12 新夏見橋(※1)	※1986～1995年に調査					II	II					
13 高橋	※1986～1995年に調査											
14 黒田大橋	※1994、1999、2000、2003年に調査											
15 名張大橋	※1998年に調査											
16 大屋戸潜水橋	※1988年に調査											
17 薦生橋	※1988年に調査											
18 冢野	※1986、1987、1989～1995年に調査											
19 笠置橋	※1985～1987、2001年に調査											
20 恭仁大橋	II	II	II	I	II	II	II	II	II	II	II	I
21 泉大橋	※1986、1987年に調査											
22 泉大橋下流2km	※1985年に調査											
23 玉水橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
24 岩田	※1985～1987年に調査											
25 木津川御幸橋	II	II	II	II	II	II	III	I	II	II	II	II
26 新服部橋	I	I	I	I		I	I	I	I	I	I	I
27 木の平橋	※1998年に調査											
28 新町橋		I				II			I			
29 不動川砂防歴史公園	※2003年に調査											
30 大山田	II	II										
31 壬生野		II										
32 三田		II										
33 糸川橋		II										
34 黒田橋				II								
35 依那古橋					II			II				

(※1)「新夏見橋」地点は、2011年の調査より「夏見」地点として整理している。



調査地点

これまでに**35地点**で調査が実施されました。

稲広橋、恭仁大橋、新服部橋の地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、**上流域**の稲広橋、新服部橋は「**きれいな水**」が続いています。**中流域**の恭仁大橋は「**ややきれいな水**」が続いていましたが、2017年の調査では「**きれいな水**」となりました。



木津川



参加したみなさんの感想

- 指標生物によって河川の水質を調べることができることについて、河川にいる生物だけで水質を調べられるのでとても便利だと思いました。・・・
(中学生)
- 木津川の調査会で、私たちの学校は、生物が5種類とれて、特にヒラタカゲロウ類とヤマトトビケラ類がたくさんとれました、それらを他の学校と集計した結果、ヒラタカゲロウ類とヤマトトビケラ類がたくさんいて、結果は、水質階級Ⅰでした。木津川はここ何十年水質階級Ⅰになることが無かったと聞いて、川がきれいになりはじめているってことなので、良かったなと思いました。・・・(中学生)

瀬田川・野洲川

平成29年度の調査結果

地点数：3地点

参加者数：瀬田川 81人(延べ)

野洲川 35人

参加団体：

- 守山南中学校
- 立命館守山中学校
- 瀬田北中学校



『河川環境を守る取り組み』

野洲川河口部のヨシ帯を再生することで、コイなどの魚が産卵や生息場所として利用しやすい環境を整備しています。



3地点で調査が実施され、水質判定による結果は、『きれいな水』が2地点、『ややきれいな水』が1地点でした。

瀬田川・野洲川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。)																												集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定
		I								II								III								IV										
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	I	II	III			
カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計					
名神野洲川橋	7/25	○					○			●	●			○															2	5	0	0	II	II	I	
名神野洲川橋	8/2		○							●	●			○												○		1	5	0	1	II	II	I		
瀬田川・信楽川合流点	7/27	○		●	○		●	○																				7	1	0	0	I	I	I		
高橋下流	7/28	○		○				●							○											○		4	1	0	1	I	I	I		

きれいな水I

ややきれいな水II

きたない水III

とてもきたない水IV

確認種

瀬田川・野洲川では、「きれいな水」の指標生物であるヒラタカゲロウ類、ナミウズムシ、サワガニ、「ややきれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類、オオシマトビケラが多く確認されました。

確認種数

瀬田川・野洲川全体で、「きれいな水」の指標生物6種類、「ややきれいな水」の指標生物4種類、「きたない水」の指標生物2種類の合計12種類が確認されました。

瀬田川・野洲川

調査結果の経年変化

瀬田川

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1 石山寺対岸	※1984～1991年に調査											
2 石山小学校前	※1984、1985年に調査											
3 瀬田川洗堰下	※1984～1992年に調査											
4 信楽川・瀬田川合流点(※1)	I	II	I	I	I	II	I	I	II	I	I	I
5 瀬田川・大石川合流点						I	II	I	II			
6 高橋下流											I	I

(※1)「信楽川・瀬田川合流点」地点は、2010年の調査より「瀬田川・信楽川合流点」地点として整理している。

野洲川

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1 野洲川大橋	II	II	I						II			
2 落差工(※1)					II	II	II	II	II			
3 名神野洲川橋				II						II	I	I

(※1)「落差工」地点は、2010年の調査より「落差工上流付近」地点として整理している。



調査地点

瀬田川では、これまでに**6地点**で調査が実施されました。

信楽川・瀬田川合流点で、継続的に調査が実施されています。

野洲川では、これまでに**3地点**で調査が実施されました。

水のきれいさの経年変化

瀬田川の水のきれいさは、主には「きれいな水」が続いています。

野洲川の水のきれいさは、2015年までは「ややきれいな水」が続いていましたが、2016年以降は「きれいな水」が続いています。

瀬田川・野洲川



参加したみなさんの感想

- あめんぼうやえびのおとなと赤ちゃんをくれてうれしかったです。またいきたいです。・・・（小学生）
- 図鑑でしか見たことがない生物を実際に見て触る事が出来たので、貴重な体験が出来た。・・・（中学生）



桂川

平成29年度の調査結果

地点数：1地点

参加者数：30人

参加団体：

- 新豊崎中学校
- 新北野中学校
- 大桐中学校
- 中野中学校



『河川環境を守る取り組み』

桂川は自然豊かで、上流にはオオサンショウウオ、中流にはアユモドキが、下流にはヨドゼゼラがすんでいます。



1地点で調査が実施され、水質判定による結果は、『ややきれいな水』でした。

桂川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定			
		I										II						III						IV							I	II	III	IV						
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								点数計	点数計	点数計
カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アマカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドROMシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズムシ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロンコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	3	6	0	0	II	II	II					
渡月橋	7/27	○	○	○						○	●	○		○	○																			3	6	0	0	II	II	II
渡月橋	8/23	○	○	○						●	○	●																						3	6	0	0	II	II	II

きれいな水I

ややきれいな水II

きたない水III

とてもきたない水IV



確認種

「ややきれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類、オオシマトビケラ、ヒラタドROMシ類が多く確認されました。

確認種数

桂川全体で、「きれいな水」の指標生物3種類、「ややきれいな水」の指標生物5種類の合計8種類が確認されました。

桂川

調査結果の経年変化

地 点		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1	渡月橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ
2	上野橋	※1985～1987年に調査											
3	西大橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	I	I	I	Ⅱ	Ⅱ	
4	羽束師橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	I	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	
5	宮前橋	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅱ	
6	大山崎	※2005年に調査											

 きれいな水Ⅰ

 ややきれいな水Ⅱ

 きたない水Ⅲ

 とてもきたない水Ⅳ



調査地点

これまでに **6 地点** で調査が実施されました。
渡月橋で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、過去「**ややきれいな水**」が続いているが、**平成24年（2012年）以降は「きれいな水」**の地点がみられます。

桂川



参加したみなさんの感想

- ぼくは、あまり水生昆虫には興味がなかったのですが、今回の調査会を通じて興味を持つ事ができました。そして今は数が減ってあまり見かけなくなった「アユモドキ」などの生物についても学ぶことができました。今後こういった調査会や水質調査などといったイベントに参加し、もっと自然にふれてみたいと思いました。・・・（中学生）
- ぼくは、初めて川の水生生物調査に参加しました。水生生物調査をして、川の中や底にいる生物で水質判定ができることにおどろきました。（中学生）

淀川・宇治川

平成29年度の調査結果

地点数：2地点

参加者数：40人(延べ)

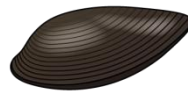
参加団体：

- 新豊崎中学校
- 新北野中学校
- 南中学校
- 咲くやこの花中学校
- 大桐中学校



『河川環境を守る取り組み』

淀川には十三干潟などの自然の干潟のほかに、柴島干潟、海老江干潟、大淀干潟の3箇所に再生干潟があります。



2地点で調査が実施され、水質判定による結果は、
全ての地点で『ややきれいな水』でした。

淀川・宇治川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。)																													集計				判定				
		I										II										III					IV				I	II	III	IV	点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								点数計	点数計
宇治橋	8/7		○								●	○				●			○												○		1	5	1	1	II	II	II
柴島再生干潟	7/24															●	●																0	4	0	0	II	II	II

きれいな水 I

ややきれいな水 II

きたない水 III

とてもきたない水 IV



確認種

「ややきれいな水」の指標生物である、コガタシマトビケラ類、オオシマトビケラが多く確認されました。

確認種数

淀川・宇治川全体では、「きれいな水」の指標生物 1 種類、「ややきれいな水」の指標生物 5 類、「きたない水」の指標生物 1 種類、「とてもきたない水」の指標生物 1 種の合計 8 種類が確認されました。

淀川・宇治川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1 宇治橋	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
2 隠元橋						II	II	II	II	II	II	
3 観月橋	※1986、1987年に調査											
4 宇治川御幸橋	II	III	III	III	II	II	III	II	II	II	II	
5 枚方大橋	※2000年に調査											
6 鳥飼大橋	III	III	II	III	III	III	II	II	II	II	II	
7 豊里大橋	※1986、1987年に調査											
8 城北ワンド(※1)	III	III	IV	III	III	III	III	III	III	III	III	
9 柴島水管橋	III	III	II	III	III	III	III	II	II	III	III	
10 淀川大堰(※2)	II	II	III	II	II	II	II	II	II	II	II	II
11 西中島	※1985年に調査											
12 伝法大橋	II	II	III	II	II	II	II	II	II	II	II	
13 枚方大橋(磯島)	※1998、2000、2002年に調査											
14 船橋川河口	※2000年に調査											
15 穂谷川合流点(※3)	II	II	III	II	II	II	II	II				
16 十三干潟(※4)	II	II	II	II	II							
17 向島	※2005年に調査											
18 東高瀬川合流部	II	II	II	II	II							
19 楠葉砂州									II	II	II	

(※1)「城北ワンド」地点は、2010年の調査より「城北」地点として整理している。

(※2)「淀川大堰」地点は、2010年の調査より「淀川大堰下流」地点、2016年の調査より「柴島再生干潟」地点として整理している。

(※3)「穂谷川合流点」地点は、2010年の調査より「枚方(穂谷川合流点)」地点として整理している。

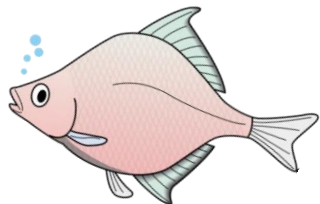
(※4)「十三干潟」地点は、2010年の調査より「西中島干潟」地点として整理している。

😊 きれいな水Ⅰ

😊 ややきれいな水Ⅱ

😞 きたない水Ⅲ

😞 とてもきたない水Ⅳ



調査地点

これまでに**19地点**で調査が実施されました。

宇治橋、淀川大堰の地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、**上流**の宇治橋地点、**下流**の淀川大堰地点ともに「**ややきれいな水**」が続いています。



淀川・宇治川



参加したみなさんの感想

- 今回の調査会で近所の淀川のことについてよく知ることができ、とても楽しかった。・・・（中学生）
- 身近にいる生物を調査することで、川のおおよその環境を知ることができて、とても良かったです。淀川へは普段行きませんが、自分の思っていたイメージより川が澄んでいて「大勢の人々の協力で、少しずつ川的环境がよくなっているのだなあ。」と思いました。・・・（中学生）

猪名川

平成29年度の調査結果

地点数：7地点

参加者数：709人(延べ)

参加団体：

- 六瀬中学校
- 清和台小学校
- 川西小学校
- 多田小学校
- 東谷小学校
- 池田小学校
- 加茂小学校
- 川西市民短期大学レフネック
- 猪名川愛護セミナー



『河川環境を守る取り組み』

川を横断する堰に簡易な魚道（小技）がつくられ、アユやモクズガニといった生物が、より上流までのぼっていきやすくなりました。

7地点で調査が実施され、水質判定による結果は、『きれいな水』が3地点、『ややきれいな水』が4地点でした。



調査結果
熊野川
紀の川
大和川
木津川
瀬田川
野洲川
桂川
淀川・宇治川
猪名川
揖保川
加古川
巴山川
由良川
北川
九頭竜川

猪名川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。)																													集計				判定				
		I									II									III									IV				I	II	III	IV	点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	I	II							
		カワゲラ類	ナガレトビケラ類	ヤマトビケラ類	ヒラタカゲロウ類	ヘビトンボ	ブユ類	アミカ類	ナミウズムシ	サワガニ	ヨコエビ類	コガタシマトビケラ類	オオシマトビケラ	ヒラタドロムシ類	ゲンジボタル	コオニヤンマ	カワニナ類	ヤマトシジミ	イシマキガイ	ミズカマキリ	シマイシビル	タニシ類	イソコツブムシ類	ニホンドロソコエビ	ユスリカ類	チヨウバエ類	エラミミズ	サカマキガイ	アメリカザリガニ	点数計	点数計	点数計	点数計						
奥猪名健康の郷	9/11	●		○	●					○				○	○	○				○	○									6	3	2	0	I	I	I			
観音橋	5/31	○	○						○			○																	3	1	0	0	I	I					
支流初谷川	7/13	○							●						○														3	1	0	0	I	I	I				
こんにやく橋	9/4	●	○								●	●	○																3	5	0	0	II	II	II				
こんにやく橋	7/23	○		○	○			○	○		●	○	○		●	○					○						○	5	7	1	1	II	II	II					
池田床固め	9/5	●	○												○							○	○						3	1	2	0	I	I	II				
池田床固め	9/6	●										○	○																2	2	0	0	I	I	II				
池田床固め	7/23			●							○	●	○		○	○						●				●			2	6	2	2	II	II	II				
ドラゴンランド	6/1							○				●														○			1	2	0	1	II	II	II				
ドラゴンランド	7/7							○			○			●															1	3	1	0	II	II	II				
ドラゴンランド	10/12	○	○		○						○	●	○		○	○											○		3	6	0	1	II	II	II				
桑津橋	7/23	○		○							○	○	○		●						○	●							2	4	3	0	II	II	I				

きれいな水Ⅰ

ややきれいな水Ⅱ

きたない水Ⅲ

とてもきたない水Ⅳ

確認種

「きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、「ややきれいな水」の指標生物である、コガタシマトビケラ類、オオシマトビケラ、ヒラタドロムシ類、オコニヤンマが多く確認されました。

確認種数

猪名川全体では、「きれいな水」の指標生物7種類、「ややきれいな水」の指標生物7種類、「きたない水」の指標生物3種類、「とてもきたない水」の指標生物2種類の合計19種類が確認されました。

猪名川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1 小戸井堰	※1986～2001年に調査											
2 加茂井堰	※1986～2001年に調査											
3 池田床固(※1)	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II	II
4 久代北台井堰	※1986～2001年に調査											
5 高木井堰	※1986～2001年に調査											
6 軍行橋	※1986～2001年に調査											
7 三ヶ井井堰	※1986～2001年に調査											
8 桑津橋	II	II	II		II	II	II	II	II	II	I	II
9 分派点	※1986～2001年に調査											
10 中園橋	※2003年に調査											
11 文珠橋	※2003年に調査											
12 御社橋	※1998年以前に調査											
13 吉田橋	※2003年に調査											
14 銀橋上流(※2)	II	II	II		II	II	II	II	II	II	II	II
15 向所橋	※2000、2002～2004年に調査											
16 上ノ所橋	※2001年に調査											
17 上止々呂美		I										
18 奥猪名健康の郷											I	I
19 支流初谷川											I	I
20 ドラゴンランド											II	II
21 観音橋												I

(※1)「池田床固」地点は、2010年の調査より「池田床固下流」地点として整理している。
 (※2)「銀橋上流」地点は、2010年の調査より「こんにやく橋」地点として整理している。

 きれいな水Ⅰ

 ややきれいな水Ⅱ

 きたない水Ⅲ

 とてもきたない水Ⅳ



調査地点

これまでに**21地点**で調査が実施されました。

池田床固、桑津橋、銀橋上流（こんにやく橋）で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、ほぼすべての地点で、継続的に「**ややきれいな水**」となっていますが、2016年以降は「**きれいな水**」の地点もみられます。

猪名川



参加したみなさんの感想

- 最初は、川に入るのを嫌がる子もありますが、水生昆虫や魚をつかまえると、とてもうれしそうです。生きものを探すうちに、「どんな生きものが、どんな場所にすんでいるか」がわかってきます。あ水生生物調査は、実際に川に入って生きものを探す体験ができ、生きものや川のことを考えるのに、たいへん有意義な調査です。・・・（指導者）



揖保川

平成29年度の調査結果

地点数：6地点

参加者数：320人(延べ)

参加団体：

- 半田小学校
- たつのこどもエコクラブ
- 龍野小学校
- 林田川水生生物セミナー
- 誉田小学校
- 新宮小学校



『河川環境を守る取り組み』

揖保川下流につくった人工ワンドには、多くの魚やテナガエビ、イシガメなどがすむようになりました。



6地点で調査が実施され、水質判定による結果は、全ての地点で『ややきれいな水』でした。

揖保川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。)																													集計				判定					
		I										II								III						IV					I	II	III	IV	点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定			
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	点数計	点数計	点数計	点数計						
水辺の楽校公園	6/5	○			●						○		●		○	○												○						3	5	0	1	II	II	II
千鳥ヶ浜公園	9/30	○	○										●		○	●																		2	5	0	0	II	II	II
龍野橋上流	7/11	○			○								●		○	●																		2	5	0	0	II	II	
新幹線下流	8/22												●		○	●																		0	5	0	1	II	II	II
井上第二排水樋門	6/14	○											●		○	●				○				○										1	5	2	0	II	II	II
芝田橋上流右岸	9/5	○	○		○					○	○		●		○	●										○								4	6	1	0	II	II	II

🌿 きれいな水 I

😊 ややきれいな水 II

⚠️ きたない水 III

🚫 とてもきたない水 IV

確認種

「ややきれいな水」の指標生物であるヒラタドロムシ類、カワニナ類が多く確認されました。

確認種数

揖保川全体では、「きれいな水」の指標生物4種類、「ややきれいな水」の指標生物4種類、「きたない水」の指標生物3種類、「とてもきたない水」の指標生物2種類の合計13種類が確認されました。

揖保川

調査結果の経年変化

 きれいな水Ⅰ

 ややきれいな水Ⅱ

 きたない水Ⅲ

 とてもきたない水Ⅳ

調査結果

熊野川

紀の川

大和川

木津川

瀬田川

桂川

淀川・宇治川

猪名川

揖保川

加古川

円山川

由良川

北川

九頭竜川

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1 木坂橋	※1985、1986年に調査											
2 安積橋	※1988、1989年に調査											
3 西安積橋	※1985～1988年に調査											
4 間賀橋	I	I	I									
5 清姫橋	I	I	I	I	I	I						
6 山崎大橋	I	I	II	I	I	I						
7 香島橋	I	I	II									
8 新香橋	※1985、1986年に調査											
9 嵩崎橋	II	I	II	II	I	II						
10 大屋橋	※1985～1988年に調査											
11 祇園橋	※1986年に調査											
12 龍野橋	I	II	II	II	II	I						
13 揖保上頭首工	※1986年に調査											
14 正条橋	※1984～1986年に調査											
15 不動橋	※1988年に調査											
16 中山橋	※1987年に調査											
17 下構橋	※1987年に調査											
18 中井橋	※1986年に調査											
19 誉鳩橋	※1986年に調査											
20 王子橋	II	II	II	II	II	II						
21 浜田井堰	※1985、1986年に調査											
22 真砂橋	II	II	II	II		II						
23 塩野河川敷	※2002年に調査											
24 神河橋(※1)									I			
25 片吹頭首工												
26 龍野新大橋	II								II	II	II	
27 鹿ヶ壺	I			I	I	I	I	I	I	I	I	
28 中井橋												
29 山陽新幹線 林田川橋梁(※2)	II	II		II	II	II	II	II	II			
30 岩見橋上		II										
31 阿曾井堰下流			II	II	II	II						
32 河東大橋			I									
33 千鳥ヶ浜(※3)			II	II	II	II	I	II	II	II		II
34 水辺の楽校(※4)				II			II	II	I	II	II	II
35 染河内川						I	I					
36 新宮リバーパーク						II						
37 林田川(姫路バイパス 付近)(※5)							II	II	II	II	II	II
38 都多小学校付近								I	I	I	I	
39 大垣内橋上流								I				
40 染河内橋									I			
41 相坂橋下流									I			
42 染河内小学校付近									I			
43 新香橋									I	II	I	
44 三方繁盛浄水場付近									I	I	I	
45 芝田橋歩道橋									II			
46 Iの館黒原付近										I	I	
47 さつき大橋下流										I		
48 芝田橋(※6)										II	II	II
49 JR林田川橋梁下流 (※7)											II	II
50 龍野橋上流												II

調査地点

これまでに**50地点**で調査が実施されました。

千鳥ヶ浜、水辺の楽校、林田川（姫路バイパス付近）で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、ほぼすべての地点で、継続的に「**ややきれいな水**」となっています。

- (※1)「神河橋」地点は、2014年の調査より「神河橋上流」地点として整理している。
- (※2)「山陽新幹線林田川橋梁」地点は、2013年の調査より「新幹線付近」地点として整理している。
- (※3)「千鳥ヶ浜」地点は、2012年の調査より「千鳥ヶ浜公園」地点として整理している。
- (※4)「水辺の楽校」地点は、2012年の調査より「水辺の楽校公園」地点として整理している。
- (※5)「林田川(姫路バイパス付近)」地点は、2015年の調査より「太子龍野バイパス上流」地点、2017年の調査より「井上第二排水樋門」として整理している。
- (※6)「芝田橋」地点は、2017年の調査より「芝田橋上流右岸」地点として整理している。
- (※7)「JR林田川橋梁下流」地点は、2017年の調査より「新幹線下流」地点として整理している。

揖保川



調査実施状況



加古川

平成29年度の調査結果

地点数：2地点

参加者数：83人(延べ)

参加団体：

- 子ども観光大使
- 大部小学校



『河川環境を守る取り組み』

加古川では、ヤリタナゴやアブラボテなどのタナゴ類やドジョウの産卵場、洪水のときの魚の避難場所となる「ワンド」や「たまり」の再生を行っています。

2地点で調査が実施され、水質判定による結果は、全ての地点で『ややきれいな水』でした。



加古川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定	
		I										II					III					IV									I	II	III	IV				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	点数計	点数計	点数計	点数計				
加古川大堰下流	9/2										●	●	○		○	○																0	7	0	0	II	II	II
粟田橋下流	9/25	○			○						○	●	○		○																	4	5	0	0	II	II	

きれいな水Ⅰ

ややきれいな水Ⅱ

きたない水Ⅲ

とてもきたない水Ⅳ

確認種

「ややきれいな水」の指標生物であるオオシマトビケラが多く確認されました。

確認種数

加古川全体では、「きれいな水」の指標生物3種類、「ややきれいな水」の指標生物5種類の合計8種類が確認されました。

加古川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1 金水寺橋	※1988年に調査											
2 小南橋	※1988年に調査											
3 長野橋	※1988年に調査											
4 船町橋	※1987、1988年に調査											
5 由緑橋	※1988年に調査											
6 八坂橋	※1988年に調査											
7 板波橋	II	II	II	II	II	II	I					
8 滝見橋	I	II	II									
9 大門橋	II	II	II									
10 古川橋	II	II	II									
11 東条川合流点下流	※1984年に調査											
12 西脇橋	※1988、1990年に調査											
13 大住橋	II	II	II	II	II	II			I			
14 御坂橋	※1988年に調査											
15 美薮川橋	II	II	II									
16 池尻橋	I	II	III	II	II	II		II				
17 加古川橋	II	II	II	II	II	II						
18 大平橋	※2002年に調査											
19 米田河川敷	II	II		II								
20 万歳橋	※2005年に調査											
21 水分け公園	I											
22 加東市野村～上田					II							
23 加古川堰堤					II							
24 福田橋							II					
25 加古川大堰下流								II	II	II	II	
26 175号交差付近									I			
27 加古川合流点付近									II	II		
28 粟田橋下流									II	II	II	

🌿 きれいな水Ⅰ

😊 ややきれいな水Ⅱ

⚠️ きたない水Ⅲ

💣 とてもきたない水Ⅳ



調査地点

これまでに**28地点**で調査が実施されました。

近年は、加古川大堰地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、「**ややきれいな水**」となっています。



加古川



調査実施状況



円山川

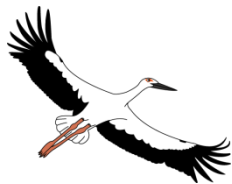
平成29年度の調査結果

地点数：1地点

参加者数：29人

参加団体：

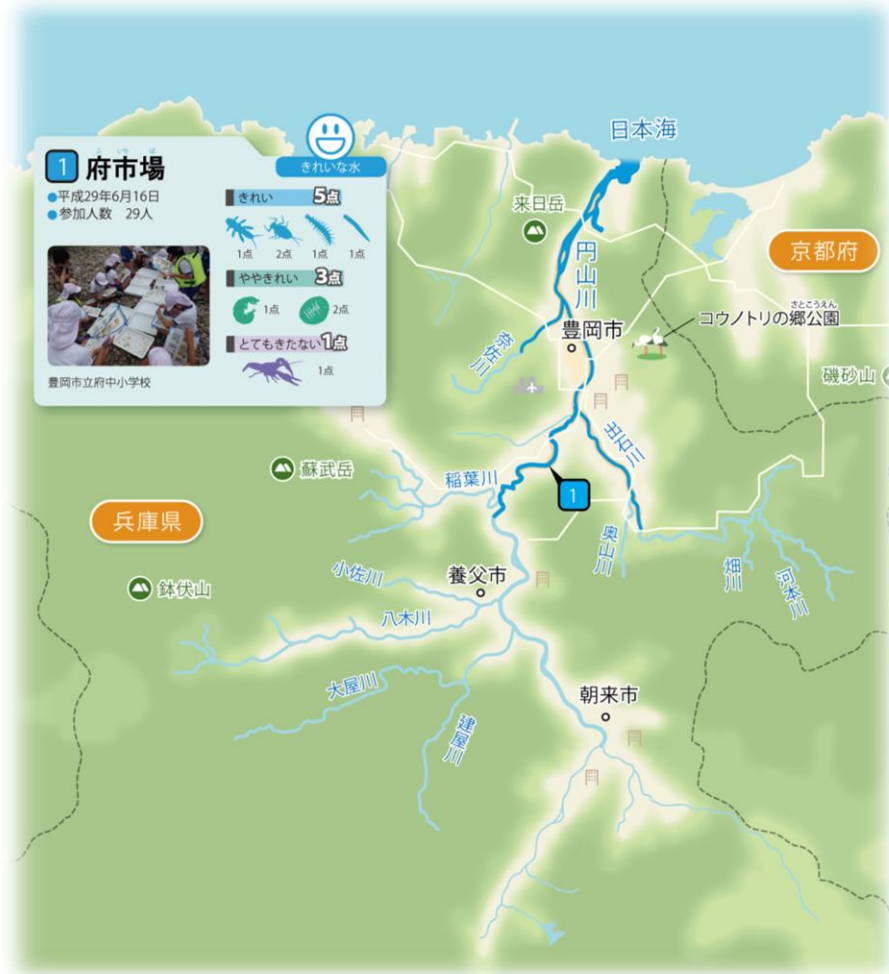
□ 府中小学校



『河川環境を守る取り組み』

円山川の河口から下流域には、コウノトリの餌場となっている干潟やヨシ原、ワンドなどの湿地が広がり、中流ではアユだけでなくサケの産卵も見られます。

1地点で調査が実施され、水質判定による結果は、『きれいな水』でした。



円山川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定					
		I										II								III						IV					I	II	III	IV								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	点数計	点数計	点数計	点数計	点数の最も高い階級							
府市場	6/16	○			●	○																														5	3	0	1	I	I	I

 きれいな水 I

 ややきれいな水 II

 きたない水 III

 とてもきたない水 IV

確認種

「きれいな水」の指標生物であるヒラタカゲロウ、「ややきれいな水」の指標生物であるヒラタドROMシ類が多く確認されました。

確認種数

円山川全体では、「きれいな水」の指標生物4種類、「ややきれいな水」の指標生物2種類、「とてもきたない水」の指標生物1種の合計7種類が確認されました。

円山川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
36 府市場	II	II	II		I	II	I		II	II	I	I
37 鍛冶屋	II											
38 佐田		I										
39 和田山町栄町			I									
40 出石町福住				I								
41 日高町稲葉				I								
42 弘原					I		I	I	II	I	I	

😊 きれいな水Ⅰ 😊 ややきれいな水Ⅱ 😊 きたない水Ⅲ 😡 とてもきたない水Ⅳ



調査地点

これまでに **42** 地点で調査が実施されました。
府市場地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、近年は「きれいな水」となっています。

円山川



参加したみなさんの感想

- ・沢山の生き物を見つける事ができた！・・・（小学生）



由良川

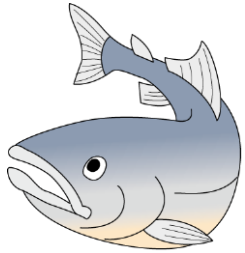
平成29年度の調査結果

地点数：2地点

参加者数：22人(延べ)

参加団体：

- 東綾小・中学校
- 上林小・中学校



『河川環境を守る取り組み』

中流から下流にかけての河畔林にはエノキ・ムクノキ林や、かつて水害防止に植えられたマダケがあり、緑豊かな景観をつくっています。

2地点で調査が実施され、水質判定による結果は、全ての地点で『きれいな水』でした。

由良川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つけた指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。)																												集計				判定						
		I								II								III								IV				I	II	III	IV	点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28								29	点数計	点数計	点数計
有安橋	10/5	○				●	○			○						○	●																	5	3	0	0	I	I	I
朝根橋上流	7/10	●				●				○					○	●																		5	4	0	0	I	I	I

 **きれいな水I**

 **ややきれいな水II**

 **きたない水III**

 **とてもきたない水IV**

確認種

「きれいな水」の指標生物であるヘビトンボ、「ややきれいな水」の指標生物であるカワゲラ類が多く確認されました。

確認種数

由良川全体では、「きれいな水」の指標生物4種類、「ややきれいな水」の指標生物3種類の合計7種類が確認されました。

由良川

調査結果の経年変化

😊 きれいな水Ⅰ

😐 ややきれいな水Ⅱ

😞 きたない水Ⅲ

😡 とてもきたない水Ⅳ

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1 丹波大橋	※1984～1987、1989～1996年に調査											
2 以久田橋	※1984～1989年に調査											
3 山下橋	※1993～1995、2000～2003年に調査											
4 川北橋	※1995年に調査											
5 新橋	※1995～1996年に調査											
6 高畑橋	※1985～1987、1991～1996年に調査											
7 新土師橋(※1)					Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ	Ⅰ				
8 音無瀬橋	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅱ	Ⅰ				
9 新音無瀬橋	※1985～1987、1991～1996、1998年に調査											
10 新庄橋	※1989年に調査											
11 笹巻橋	※1998年に調査											
12 波美橋	※1984～1992年、1994、1995に調査											
13 大雲橋	※1993年に調査											
14 西飼橋	※1995年に調査											
15 六人部橋	※1998～2000年に調査											
16 畑川親水公園	※1997年に調査											
17 猪野々橋	※1999～2000年に調査											
18 芦生	※1998年に調査											
19 河瀬橋	※1998年に調査											
20 和知町細谷	※1999年に調査											
21 山家橋下流	※1999、2000年に調査											
22 仏谷橋	※1999、2000年に調査											
23 荷稻橋	※1999～2001年に調査											
24 弓削橋	※2000年に調査											
25 十倉橋	Ⅰ	Ⅰ										
26 相良橋	※2001、2002年に調査											
27 上端橋	※2002年に調査											
28 大手橋	Ⅰ		Ⅱ	Ⅱ		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ			
29 南島橋	※2002年に調査											
30 車瀬橋	※2002、2004年に調査											
31 朝根橋	※2003年に調査											
32 畑口川	※2003年に調査											
33 福知山市私市付近												
34 南丹市美山町 上平屋付近(※2)						Ⅰ						
35 故屋岡町岩村付近	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ									
36 綾部由良川水生園		Ⅰ										
37 有安橋		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ		Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ
38 市場大橋				Ⅱ								
39 新小貝橋					Ⅱ							
40 新橋サンダル公園					Ⅱ							
41 猿田彦公園					Ⅱ	Ⅱ						
42 石原									Ⅰ			
43 縄手									Ⅱ			
44 朝根橋上流										Ⅰ	Ⅰ	Ⅰ

調査地点

これまでに **44** 地点で調査が実施されました。

有安橋で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、近年は「**きれいな水**」がつついています。



(※1)「新土師橋」地点は、2010年の調査より「新土師川橋」地点として整理している。

(※2)「南丹市美山町上平屋付近」地点は、2011年の調査より「上平屋」地点として整理している。

由良川



参加したみなさんの感想

- 知らない生物もたくさんいて勉強になった。・・・（小学生）
- 普段出来ない体験で貴重な経験になった。・・・（中学生）



北川

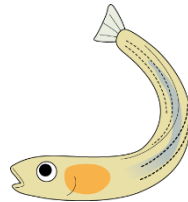
平成29年度の調査結果

地点数：2地点

参加者数：32人(延べ)

参加団体：

□ 雲浜まちづくり委員会



『河川環境を守る取り組み』

北川のいくつかの支川合流部には、堤防の一部が開口した「霞堤」とよばれる堤が見られます。霞堤の付近では川の流れがゆるやかなので、動物の行き来が容易にでき、多くの動物が利用します。



2地点で調査が実施され、水質判定による結果は、全ての地点で『きれいな水』でした。

北川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。)																													集計				判定 点数の最も高い階級	今年の判定	昨年の判定					
		I									II									III						IV																
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	I	II	III	IV								
三宅橋	8/4	○			●	○																														5	4	0	0	I	I	I
高塚橋	8/4	○	●	○						○																										5	3	0	0	I	I	I

きれいな水 I

ややきれいな水 II

きたない水 III

とてもきたない水 IV

確認種

「きれいな水」の指標生物であるナガレトビケラ類、ヒラタカゲロウ類、「ややきれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類が多く確認されました。

確認種数

北川全体では、「きれいな水」の指標生物7種類、「ややきれいな水」の指標生物3種類の合計10種類が確認されました。

調査結果

熊野川

紀の川

大和川

木津川

瀬田川

桂川

淀川・宇治川

猪名川

揖保川

加古川

岡山川

由良川

北川

九頭竜川

調査結果の経年変化

地点		2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1	新道	※1984年に調査											
2	三宅橋	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I	I
3	天徳寺橋	I	I	II	I	I	I	I	II	I	I	I	
4	神谷橋	※1997年に調査											
5	高塚橋	I	I	II	II	II	I	I	I	I	I	I	I



調査地点

これまでに**5地点**で調査が実施されました。

三宅橋、高塚橋地点で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、近年は「**きれいな水**」がつづいています。

北川



調査実施状況



九頭竜川

平成29年度の調査結果

地点数：5地点

参加者数：68人(延べ)

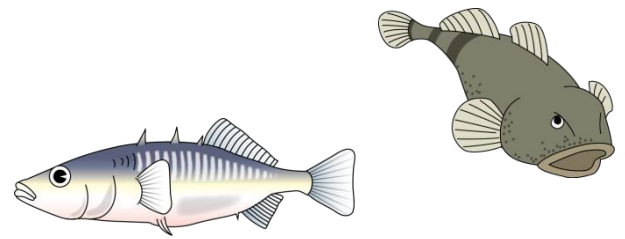
参加団体：

- 和泉小中学校
- 大安寺小中学校
- 川西中学校



『河川環境を守る取り組み』

コウノトリがすすめる環境を目標に「湿地の再生と創出」、カワラヨモギなどの生育を目標に「砂礫河原の再生」などを行っています。



5地点で調査が実施され、水質判定による結果は、『きれいな水』が3地点、『ややきれいな水』が2地点でした。

調査結果
熊野川
紀の川
大和川
木津川
瀬田川
野洲川
桂川
淀川・宇治川
猪名川
揖保川
加古川
岡山川
由良川
北川
九頭竜川

九頭竜川

指標生物の確認状況

地点名	調査月日	指標生物の出現状況 (見つかった指標生物の欄に○印、うち数の多い2種類に●印をつける。)																													集計				判定	今年の判定	昨年の判定					
		I									II									III						IV					I	II	III	IV								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29								点数計	点数計	点数計	点数計	
和泉支所前	7/24					●																														2	4	0	0	II	II	I
九頭竜川上流	7/24	●	○		○	●																														6	2	0	0	I	I	I
前坂キャンプ場	7/24	●			●	○																														5	0	0	0	I	I	I
福井大橋下流	8/2		●		○	○									●																					4	3	0	0	I	I	I
天池河川公園前	8/2				●																															2	5	1	2	II	II	I

☺ きれいな水Ⅰ

😊 ややきれいな水Ⅱ

☹ きたない水Ⅲ

☠ とてもきたない水Ⅳ

確認種

「きれいな水」の指標生物であるカワゲラ類、ヒラタカゲロウ類、ヘビトンボ、「ややきれいな水」の指標生物であるコガタシマトビケラ類が多く確認されました。

確認種数

九頭竜川全体では、「きれいな水」の指標生物4種類、「ややきれいな水」の指標生物4種類、「きたない水」の指標生物1種類、「とてもきたない水」の指標生物2種類の合計11種類が確認されました。

九頭竜川

調査結果の経年変化

地点	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
1 鳴鹿堰下流	※1984～1992年に調査											
2 鳴鹿橋上流	I	I	II	I	II	I	I	III	III	I	I	
3 福井大橋(※1)	I	I	I	I	I	I	I	II	II	I	I	I
4 中角橋(※2)		II	I	I	I	I	I	IV	I	I	I	II
5 江端川合流点	※1987年に調査											
6 朝宮橋	※1985～1990年、1992～1994年に調査											
7 布施田橋	※1985～1988年に調査											
8 和泉支所前									I	I	I	II
9 前坂キャンプ場									I	I	I	I
10 九頭竜川上流										I	I	I

(※1)「福井大橋」地点は、2002年の調査より「福井大橋下流」地点として整理している。

(※2)「中角橋」地点は、2004年の調査より「天池河川公園前」地点として整理している。

 きれいな水Ⅰ

 ややきれいな水Ⅱ

 きたない水Ⅲ

 とてもきたない水Ⅳ

調査地点

これまでに **10地点** で調査が実施されました。

福井大橋、中角橋で、継続的に調査が実施されています。

水のきれいさの経年変化

水のきれいさは、「きれいな水」及び「ややきれいな水」となっています。

九頭竜川



参加したみなさんの感想



- 自分の近くの川が、これからもさらにきれいになるように工夫したい（小学生）
- 幼虫と成虫の形の違いがわかり、とても勉強になった。・・・（小学生）
- 子供の成長に役立つよい機会だった。・・・（保護者）

川ってどんなところ？

川はあらゆる生きもののくらしを支えるところ

川はただ水が流れているところではありません。

川はそこにすむ生きものだけでなく、そのまわりの森や大地、そこに住む人々のくらしにとって大切な役割を持っています。

河畔林

川沿いの林。鳥のねぐらになり、昆虫たちも集まる。

川の中流

- 流れがやや遅くなる、川幅は中くらい、傾きはゆるい
- 角がとれた丸い石が多い
- ワンドなどがみられる

中流の川底

ワンド

川の本流から少し離れたところのできる水たまり。川の生きものにとって大切な場所。

干潟

川の河口付近にできる、砂や泥がたまった場所。川と海の両方から栄養分が流れ込む、生きものの宝庫。

川の上流

- 流れが速く、川幅は狭く、傾きが急
- 角張った石や大きな石が多い
- 沢や滝がある

上流の川底

川の下流

- 流れがゆるやかで遅い、川幅は広く、傾きはほとんどない
- 砂や砂利、泥が多い
- 洪水に備えた施設が多い

下流の川底

川を通じた生命のつながり

水生生物を通じて、生命のつながりを知りましょう

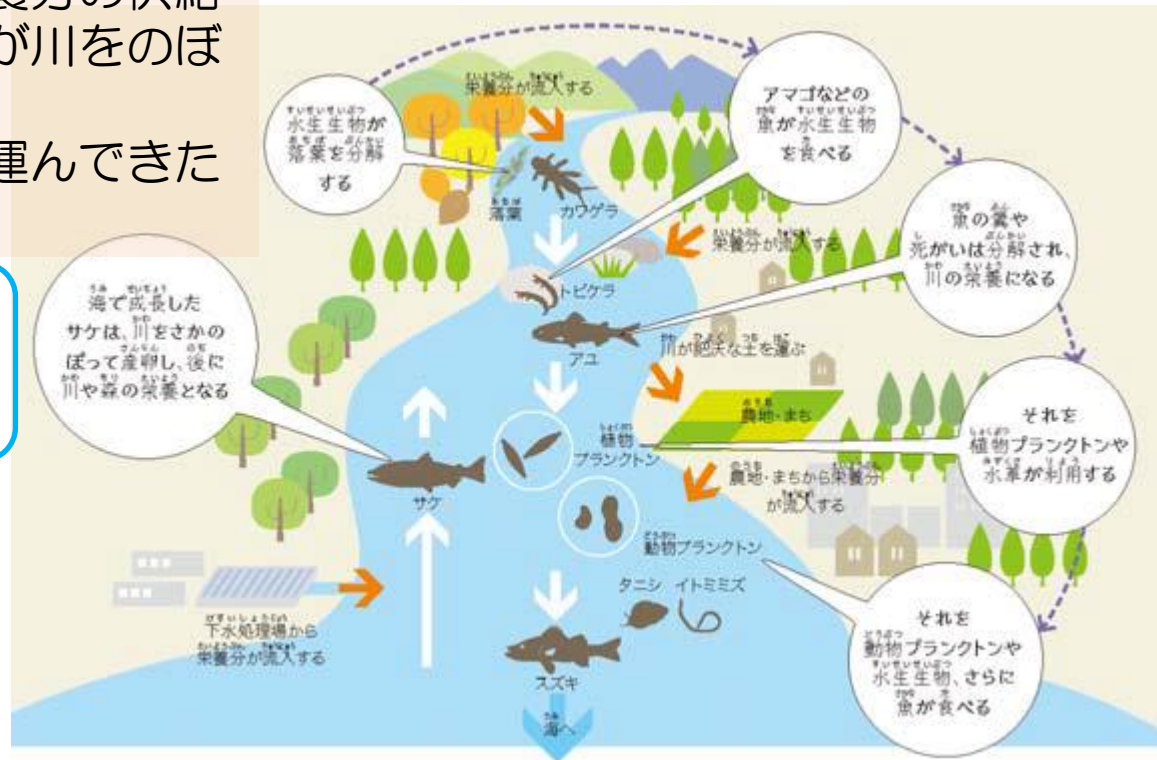
近くの川を流れる川にすむ水生生物にふれて、生命と環境とのつながりに興味を持ってください。

生きものがくらしやすい川や森や海を守ることが、私たちのくらしを守ることにもつながっています。

川を通じた生命のつながり

- ◆ 上流から下流へ：森からの栄養分の供給
- ◆ 下流から上流へ：サケやマスが川をのぼり、海から森へ栄養分を運ぶ
- ◆ 人の暮らしとの関わり：川が運んできた栄養分で農作物が育つ

水生生物は川の水をキレイにする、はたらくもしているよ！



外来生物の紹介

近年、近畿地方の川においても**外来生物の侵入**と、その被害が問題となっており、水生生物が生きていくためには、外来生物の存在も見過ごせなくなってきました。

◆ 外来生物とは？

外来生物とは、もともと日本にすんでいなかった生物で、外国から来た人や輸入された荷物などによって持ち込まれた生物のことです。

◆ 外来生物がいると？

外来生物がいると、在来種を食べてしまったり、在来種との雑種ができたり、競争により在来種を排除したりすることで、生態系や景観を損なって、もともとあった自然や人の活動によくない影響を与えることがあります。

◆ どんな外来生物がいるの？

外来生物の中でも、特に生態系や人の命、農業などに大きな影響を及ぼすものを「特定外来生物」とよび、外来生物法により、輸入や飼うことが規制されています。

近畿地方の川の近くにすんでいる特定外来生物の動物は、11種です。

◆ 外来生物は、どうしたらいいの？

ブルーギルやオオクチバスなどの魚は、釣った場所から持ち出したり、ほかの川に放したりしてはいけません。また、飼っているミドリガメなどが大きくなってしまっても、近くの川に放したりしてはいけません。ペットとして最期まで面倒をみましょう。

オオクチバス

ぶんるい ぎょるい
分類 / 魚類



北アメリカ原産の魚。大正時代に食用や釣り魚としても持ち込まれた。池や湖、流れの緩い川の下流部にすむ。在来種の魚やエビなどを食べるため、在来魚が減っているところもある。

カミツキガメ

ぶんるい はちゅうるい
分類 / 爬虫類



北アメリカ～南アメリカ原産の大きなカメ。流れの遅い川や湖、池などにすむ。肉食で魚やカエル、カメなどを食べる。攻撃的で人にもかみつく。

ヌートリア

ぶんるい ほにゅうるい
分類 / 哺乳類



南アメリカ原産の大きなネズミの仲間。川や池などの水辺にすむ。水辺の植物のほか、イタセンバラが卵を産むイシガイなどの貝も食べる。水辺の土手に巣穴を掘る。